

(トップページ：<http://mylibrary.maedal.jp/>)

(MENAランキングシリーズ：<http://mylibrary.maedal.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー：0597

(注)本稿は2024年2月11日及び12日の2回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

掲載日：2024.2.13

前田 高行

世界と中東主要国の「腐敗認識指数」

(世界ランクシリーズ その6 2023年版)

国連などの国際機関あるいは世界の著名な研究機関により各国の経済・社会に関するランク付け調査が行われている。これらの調査について日米中など世界の主要国及びトルコ、エジプト、イランなど中東の主要国のランクを取り上げて解説するのが「世界ランクシリーズ」である。

第6回のランキングは汚職追放を目指す世界のNPO法人Transparency International(略称:TI、本部ベルリン)が毎年発表している「Corruption Perception Index(腐敗認識指数)」について比較しました。

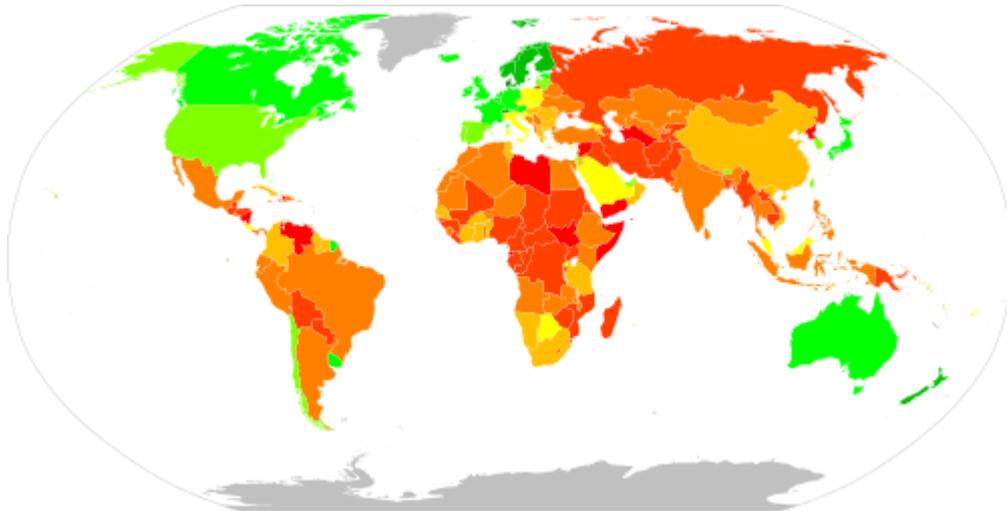
* ホームページ：<http://www.transparency.org/>

1. 「Corruption Perception Index (腐敗認識指数)」について

Corruption Perception Index(CPI, 腐敗認識指数)は、公務員と政治家がどの程度腐敗しているか、その度合いを国際比較し、国別にランキングしたものである。ベルリンに本部のあるNPO法人Transparency International(TI)が手がけている。

CPIは1995年に第一回の指数を発表、今年で27回目である。調査当初は対象国が41カ国、調査内容も7種類と小規模であったため、各国からは調査結果に対する不満が出たが、回を重ねるに従い内容の信頼性も高まり今回の対象国は180か国である。

評価は各国の実業家或いは分析専門家など実務で腐敗の現場に直面している人々の経験や認識に基づくアンケートを統計処理したものであり、CPIは0から100までのスコアで国を採点している。0点は最も腐敗していると考えられる国を、100点は最も透明性が高い国であることを示している。



(トップ5の顔触れは変わらず、日本は16位！)

2. 2023年の世界ランク及び2022年との比較 (末尾表 6-T01 参照)

2023年の腐敗認識指数世界ランクのトップ(即ち清潔度が世界一の国)は昨年と同じくデンマークでありスコアは90であった。これに続くトップ5はフィンランド、ニュージーランド、ノルウェー及びシンガポールであり、これらの国々も前年度の順位と変動はなかった。

上記以外の日本を含む主要な国々の世界ランクを見ると、ドイツは世界9位であり、G7の中では唯一10位以内に入っている。日本は世界16位であり前年の18位よりアップし、また米国は前回同様世界24位である。韓国は世界32位、中国76位、インドは93位である。これら3か国はいずれも前年より順位を下げている、特に中国は前回の65位から11ランク下がっている。ロシアは前回の137位からさらに141位に落ちており、腐敗度が進んでいると評価されている。

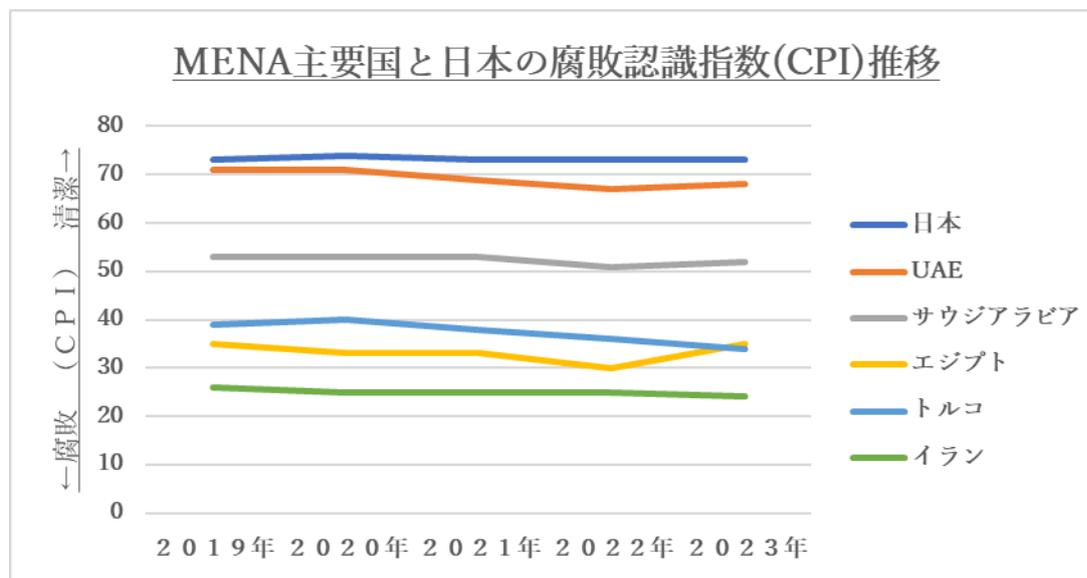
中東の主要国では、UAE が世界26位と最も高く、米国(24位)と肩を並べる高い評価を受けている。イスラエルは世界33位で韓国並みである。またサウジアラビアは世界53位であり前回とほぼ変わらない。

エジプト、トルコ、イランの中東三大国はいずれもランクが低く、エジプトは世界108位、トルコ115位であり、イランは世界180カ国中の149位にとどまっている。前年度の順位と比較すると、エジプトは130位から108位に大きくランクを上げた一方、トルコは14ランク下げてエジプトに追い抜かれ、またイランも2ランク下がっている。

内戦が続くイエメンの腐敗指数は16で世界順位は176位であり、ほぼ世界最下位に近い。因みに世界で腐敗度が最も高いとされたのはアフリカのソマリア(腐敗指数11)である。

(安定している日本、近年悪化しているトルコ！)

3. 日本と中東主要国の腐敗指数の推移(2019～2023年)



日本と中東5カ国 (UAE、サウジアラビア、トルコ、エジプト及びイラン) の2019年から2023年までの5年間の腐敗認識指数の推移を見ると、2019年の指数は日本が73、UAE71、サウジアラビア53、エジプト35、トルコ39、イラン26であった。

その後5年間を通して見ると、日本の指数は70台前半で安定している。UAE及びサウジアラビアの湾岸君主国並びにエジプトは2019年から2022年にかけて指数が低下(すなわち腐敗度が上昇)したが、今回は上向いて(清潔度が上昇して)いる。これに対してトルコとイランは長期低落傾向に歯止めがかからず、2019年と2023年の指数を比較すると、トルコは39から34に、またイランは26から24に悪化している。この結果トルコはエジプトに逆転され、2023年の世界順位も上述のとおりトルコ115位に対してエジプトは108位である。トルコ及びイランは腐敗度が進行した一方、エジプトは改善されつつある。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

腐敗認識指数(CPI)ランキング

2023 年			2022 年		2023/2022 年	
世界順位	国名	スコア	世界順位	スコア	順位	スコア
1	デンマーク	90	1	90	0	0
2	フィンランド	87	2	87	0	0
3	ニュージーランド	85	2	87	▲ 1	▲ 2
4	ノルウェー	84	4	84	0	0
5	シンガポール	83	5	83	0	0
最下位 (180位)	ソマリア	11	180	12	0	▲ 1
9	ドイツ	78	9	79	0	▲ 1
16	日本	73	18	73	2	0
24	米国	69	24	69	0	0
32	韓国	63	31	63	▲ 1	0
76	中国	42	65	45	▲ 11	▲ 3
93	インド	39	85	40	▲ 8	▲ 1
141	ロシア	26	137	28	▲ 4	▲ 2
	(中東主要国)					
26	UAE	68	27	67	1	1
33	イスラエル	62	31	63	▲ 2	▲ 1
53	サウジアラビア	52	54	51	1	1
108	エジプト	35	130	30	22	5
115	トルコ	34	101	36	▲ 14	▲ 2
149	イラン	24	147	25	▲ 2	▲ 1
176	イエメン	16	176	16	0	0

Source: Corruption Perception Index 2023 & 2022

<https://www.transparency.org/en/cpi/2023>